

お西さん

通巻135号
平成6年5月1日発行



土筆が後庭の前面一ぱい群をなすように生え揃いました。青い胞子がすぐ散り、茶色い穂先を並べすくと立っています。

ふと、まわりに眼をやると、緑の増した雑草のなか、鮮やかな青色のサフランが二・三輪、可憐というより初々しく咲いている。そして注意深く見まわすと、タンポポ・時知らずもアチコチに顔を見せていました。

もうすっかり春です。北国の春はどつと訪れるとか……。この稿が皆さまのお手許に届くころには、百花らんまん、一挙に咲き誇ることでしょう。

「花が美しいのは、せい一ぱい無心に咲いているからだ」と、詠った詩人がいました。それは誰かに気兼ねしたり、はばかりことではなく、恐れることでもありません。

授かったいのちを、かけがえのないいのちを、てらうことなく飾ることなく、無理せずそのままに、せい一ぱい生かさせて頂く。これが仏さまのお心にかなうことであります。

念仏に励まされ、仏さまに見守られて生きる、私たち人間もまた然りです。

無心に咲く花の姿に、如実知見（ありのまま）という意味あいを教えられることがあります。

輪番 佐々木 俊朗

うつみ宮土理・特別講演会



- とき 平成6年 **5月22日** (日)
午後2時より
- ところ 函館別院文化会館
函館山に向い高砂通りを左側(東川町)
- 会費 **1,000円**

◆第1部◆ 「講演会」 午後2時より

講演 うつみ宮土理
(作家・タレント)
——講話——
「母に教えられたもの」

主催 西本願寺函館別院

◆第2部◆ 「パネルディスカッション」 午後3時より

出演者 うつみ宮土理 (第3次大分県知事 元副知事)
辰村和子 (元大分県知事)
佐々木俊朗 (函館別院輪番)
司会 本多隆朗 (毎日放送「ワイドショー」)

◆お申し込み・お問い合せは
西本願寺函館別院
TEL0138-23-0647 FAX0138-23-2630



西本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647



お西さんしあわせ電話

ちよっと耳をかたむけてみませんか

0138 **27局** 2424番

聞こう//学ぼう//味わおう//24時間いつでもどうぞ。

- 5月7日(土)~13日(金)——黒田 勤
- 5月14日(土)~20日(金)——窪田 承仕
- 5月21日(土)~27日(金)——上戸 承仕
- 5月28日(土)~6月3日(金)輪 番
- 6月4日(土)~10日(金)——石丸 承仕
- 6月11日(土)~17日(金)——黒田 承仕
- 6月18日(土)~24日(金)——村岡 勤
- 6月25日(土)~7月1日(金)神田 勤

Topics

あつたかいなア、春が来たよ!

ポカポカと暖かい日差しが
 函館を包んでいます。その陽
 気に誘われて本堂裏庭に沢山
 のつくしがニヨキニヨキと出
 て来ました。さっそく春の恵
 みを少し頂くことにしました。
 一般的には「つくだに」に

する方が多いと思いますが別
 院職員は輪番の調理でつくし
 を炭火焼きにし、砂糖醤油に
 つけて頂きました。
 職員皆初めてでしたが本堂
 に春の香りをありがたく、お
 いしく頂きました。(S)



イキイキ 門徒さん コーナー



鈴木康弘(49才)さんは、
 旭町でお米屋を営んでおられ
 ます。
 先日の米騒動では、お客さ
 んの行列が毎日絶えなかった
 そうです。
 「オイルショックの時より
 すこかったですよ」
 鈴木さんのお宅は、お父さ
 んと奥さんと二人の娘さんの
 五人家族。二月の末から三月
 にかけては注文の電話がさっ
 とうして、対応にみんなが苦
 慮されたとか。

「お米は生活に密着してい
 るものだから、みんなが過敏
 になるのも仕方がないでしょ
 う」
 テレビや新聞、情報があま
 りにも多すぎるのかもしれない
 せん。
 「でも、あらためてお米の
 尊さを実感しましたよ」と笑
 顔で話して下さいました。
 今回の「オコメショック」
 皆さん、いい勉強になったの
 では! (I)



二門徒さん 日帰 旅行 二案内

みなさまの
 ご参加を
 お待ちして
 おります。
 日時 ◎平成6年6月27日(日)
 場所 ◎俄虫温泉旅館
 ☎01396672211
 会費 ◎5,000円(昼食代含)

当日集合場所・時間
 函館駅西口に午前8時集合
 出発 午前8時30分
 ※バス代は無料です。
 解散場所・時間
 函館駅西口にて午後4時頃着予定
 申し込み先
 西別院事務所迄(申し込み金持参で)
 申し込み/切・平成6年6月16日

常例布教

【五月・六月】

- 十一日 午後一時半(あそか会)
- 十二日 " (法友会)
- 十三日 " (先真連)
- 十四日 午後一時半
- 十六日会 午後十二時半、輪番法話
- 布教使
- 富山県射水郡大門町 常久寺 安溪 一心師
- 兵庫県養父郡八鹿町 水照寺 尾山 昭道師

教化サークル



【五月・六月】

- 婦人会 (黒田、神田) 毎月二十三日 例会
- 仏教壮年会 (利国、小笠原) 五月 研修会・降誕会(参加協力) 六月 研修会・全道大会(二十五日・二十六日(於常広))
- 覚信尼会 (神田、上戸) 五月十七日 郊外 六月十四日 研修会
- ポーンスカウト (芝田、黒田、窪田、上戸) 毎月プログラム発行
- 白蓮会 (利国、窪田) 毎月十四日・廿 例会
- 仏教に学ぶ会 (利国、石丸) 毎月八日・二十八日
- 仏教青年会 (芝田、上戸) 四月例会、五月総会(後日連絡)
- ピハーフ (利国、神田) その都度連絡
- 日曜学校 (黒田、黒田(敬)) 五月降誕会参拝 六月第二土曜日
- 土曜の会 六月十八日 午後一時半より 日吉一丁目熊谷宅にて

哀悼録

平成六年二月、平成六年四月の間に亡くなられた方々、
 生前のご苦労お取持ちをお祈し、心より哀悼の意を表します。

永代経懇志上納者

降誕会

降誕会とは、親鸞さまのお誕生日をお祝いする行事です。



宗祖親鸞聖人の誕生の地、日野の里には誕生院があり、聖人五歳の童形の像が安置され、毎年五月三日には誕生会が営まれている。

文化年間、第十九代本如上人(七十七)が日野家の菩提所である法界寺の境内地にお堂を建てられたもので、以来四月一日(旧暦)の親鸞聖人誕生の日に、誕生会が営まれてきた。

しかし明治維新前後、世情騒然となり中断していたが、第百一代明如上人(八十二)の時、明治七年(一八七四年)これを再興し、更に本山でも四月一日を新暦の五月二十一日に改めて「降誕会」となづけ、恒例法会としておつとめをしている。この日野の里より始まった親鸞さまは、真実なるものを求め続けられた九十年のご生涯でした。

降誕会法要

午後3時

●本堂
引き続き 法話

降誕会法要・奉讃の夕べ

午後4時30分

●西別院文化会館
協力/各教化団体
(1階にて)

お楽しみ屋台

(たこやき)

(やきそば)

(やきとり)

(おでん)



(ビール)
(ジュース)
盛りだくさんの食べものを用意してお待ちしております(有料)

お楽しみ!!

別院職員による

カラオケ説法

寸劇



5月22日(日)

午前10時 園児参拝

●本堂 (竜谷幼稚園の園児および父母)

引き続き 法話

午前11時 初参式

●本堂

午前11時 バザー

●龍谷幼稚園にて。

◎参拝者には昼食無料券を用意しております。

午後2時 うつみ宮土理 特別講演会

●西別院文化会館(1階にて)。



講師
元函館別院副輪番
浄生寺副住職
杉林 良樹 師

お楽しみするものが
あまいます

尚、5月22日(日)の月忌は、降誕会法要のためお休みさせていただきます。

お西さん五月号

平成六年五月一日発行
通巻百三十五号

発行所 本願寺函館別院

発行人

代表者

本願寺函館別院 佐々木俊朗

函館市東川町1-12 電話0138-231067

初参式に いらっしやいませんか

はじめてのお参り
夫婦の間に子供が、さずかるというのは、じつに尊くうれしい出来事です。その喜びを仏様の前で手を合わせて、しみじみとかみしめ、生まれた子供が仏様の子として、すくすく元気に育つことを願って、お参りするのが初参式です。ご家族そろってお参り下さい。



▼平成6年5月22日(日)
午前11時(約30分程度)
◎当日は30分前までにお参りください。
受式される方には記念品を用意しております。

お問い合わせは担当の職員又は西別院
0138-0947

お便り 大募集

仏教に関する「質問等、どんなことでも結構です。お返事させていただきますので、編集部宛の手紙でお寄せ下さい。
又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。どうぞ、お気軽にお便り下さい。



制作/彩枝(さいもん) ☎(0138)51-2700